別紙２－１

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件

人口動態調査事務システム標準仕様書
機能・帳票要件【改定履歴】

版数	改定日	主な改定理由	機能ID	機能IDの変更状況（削除／新規付番／変更なし）	適合基準日
第1.0版	令和5年8月31日	初版公開	ー	ー	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	事件簿のプレビュー機能について、自治体ごとに実務上の差異があることが判明したため、実装類型を実装必須機能から標準オプション機能に変更する	0380289	変更なし	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	出力日の管理は不要であることが判明したことから、出力日の登録に関する機能要件を削除する	0380307	削除	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	「死産票の受理証明書」から「死産届の受理証明書」という記述に修正する 受理証明書の出力イメージの確認について、「入力画面上で出力イメージが確認できる機能の実装でも可とする。」という記述を追加する	0380311	変更なし	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	調査票の各項目の文字制限を超過した際に、備考欄を活用できる要件を追加する	0380313	新規付番	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	印刷設定の機能要件の見直しを行い、印刷時の出力プリンタの変更と用紙（カセット）指定ができることを定義する 印刷設定の機能要件について、実装累計を標準オプション機能から実装必須機能に変更する	0380043	変更なし	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	誤記の修正	0380039 0380050	変更なし	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	各調査票の備考欄に対する入力文字数の上限が人口動態調査事務システム標準仕様書（別冊）外部連携仕様に準拠することを追記	0380313	変更なし	令和8年4月1日
第3.0版	令和7年8月29日	要件の考え方・理由欄に、出力可能な帳票種類が一覧形式で表示できることについて補足する	0380041	変更なし	令和8年4月1日
第3.0版	令和7年8月29日	共同親権の対応に伴う機能要件の見直しと項目名の統一を行う	0380179	変更なし	令和8年4月1日
第3.0版	令和7年8月29日	調査票の紙媒体出力機能に係る機能要件の見直しを行う	0380280	変更なし	令和8年4月1日
第3.0版	令和7年8月29日	誤記の修正	0380291 0380297	変更なし	令和8年4月1日
第3.0版	令和7年8月29日	調査票の枠及びデータ印字機能並びに枠のみの印刷機能に係る機能要件を追加する	0380314	新規付番	令和8年4月1日
第3.1版	令和9年1月29日	誤記の修正	0380081 0380130 0380239 0380240 0380276	変更なし	令和8年4月1日

※1 大項目が数字の事業が標準仕様書の対象範囲、英字は標準仕様書の対象範囲外となる。
※2 機能IDは採番順で付与されるため、同一中項目の機能であっても番号が連続しない場合がある。

大項目	中項目	機能ID
人口動態調査事務		
00 共通	0.1 他システム連携	0380001～0380004
	0.2 マスタ管理機能	0380005～0380027
	0.3 帳票作成管理機能	0380028～0380035
	0.4 一覧管理機能	0380036～0380038
	0.5 帳票出力機能	0380039～0380044
	0.6 ログ管理機能	0380045～0380047
	0.7 操作権限設定・管理機能	0380048～0380051
	0.8 データ保存	0380052
01 調査票	1.1 調査票作成機能	0380053～0380271
		0380313
	1.2 調査票検索機能	0380272
	1.3 調査票一覧管理機能	0380273～0380275
	1.4 調査票出力機能	0380276～0380283
		0380314
02 事件簿	2.1 調査票検索機能	0380284
	2.2 事件簿一覧管理機能	0380285～0380288
	2.3 事件簿出力機能	0380289～0380292
03 人口動態調査市町村送付票	3.1 送付票作成機能	0380293～0380296
	3.2 送付票検索機能	0380297
	3.3 送付票一覧管理機能	0380298～0380299
	3.4 送付票出力機能	0380300～0380307
04 受理証明書	4.1 死産票作成機能	0380308
	4.2 死産票検索機能	0380309
	4.3 死産票一覧管理機能	0380310
	4.4 受理証明書出力機能	0380311～0380312

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00共通													
00 共通	0.1 他システム連携	0.1.1 戸籍情報システムとの連携	戸籍情報システムとの連携		0380001	調査票作成時、届書の処分決定又は決裁時に戸籍情報システムから届書情報を受信できること。 ※1 共通基盤等との連携を含む。 ※2 データの参照、取り込みは問わず、人口動態調査事務システムで利用できること。 ※3 連携頻度は随時。 ※4 戸籍情報システムから引き渡されるレコードのフォーマットが変更になる場合は必要な措置を講じること。 ※5 国籍の名称と国籍コードのマスタを突合し、国籍のコードを設定すること。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整方針（令和5年6月改定版）による。 戸籍情報システムとの連携要件を定めている。自治体の運用やベンダーシステムの形態により様々な運用形態があるため、標準として必要と想定される要件を※で追記している。 ・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。 ※4、※5は標準仕様書第三版「2-2戸籍情報システムとのインタフェイス」より引用。		令和8年4月1日
00 共通	0.1 他システム連携	0.1.2 火葬等許可事務システムとの連携	火葬等許可事務システムとの連携		0380002	火葬等許可事務システムに、死産票情報を提供できること。 ※1 共通基盤等との連携を含む。 ※2 連携頻度は随時。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整方針（令和5年6月改定版）による。 火葬等許可事務システムとの連携要件を定めている。自治体の運用やベンダーシステムの形態により様々な運用形態があるため、標準として必要と想定される要件を※で追記している。 ・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00 共通	0.1 他システム連携	0.1.3 文字要件	文字要件		0380003	人口動態調査事務システムの文字要件については、「地方公共団体の基幹情報システムに係るデータ要件・連携要件標準仕様書」の規定に準ずる。			◎	◎	各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。		令和8年4月1日
00 共通	0.1 他システム連携	0.1.4 エラー処理	エラー処理		0380004	連携用のデータの取り込み時にエラーが発生した場合、エラー内容を確認できること。 また、エラー対応後、取り込みの再処理ができること。			○	○			令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.1 コード管理	コード管理		0380005	コードマスタを管理（登録、修正、削除、照会）できること。			◎	◎	・人口動態調査事務システム共通で管理するマスタについての記載であり、調査票、事件簿、送付票、受理証明書で管理するマスタについてはそれぞれの要件に記載している。 ・具体的なコード内容はデジタル庁がデータ要件（コード一覧）として定める。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.2 コード管理	コード管理		0380006	機能ID：0380005の実装必須機能に以下も加えること。 CSV等による取り込み及びデータ入力により、一括でマスタのメンテナンスができること。			○	○	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.3 電子公印	電子公印		0380007	帳票に印字する電子公印を管理できること。 ※1 職務代理者の公印も管理できること。 ※2 印影は自治体の要求するサイズで管理できることを目的として、画像ファイルの形式、解像度、容量等について幅広く対応できること。 ※3 帳票印刷時における、電子公印印刷の有無を設定できること。			◎	◎	各種証明書は、イメージ登録した公印での発行が認められているため。 なお、朱印による押印も認められている。		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.4 電子公印	電子公印		0380008	機能ID：0380007について、支所単位で管理できること。			○	○	支所単位で公印が異なる場合に対応を可能とする。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.5 日本・日本外(マスタ)	日本・日本外(マスタ)		0380009	日本・日本外について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.6 死亡の場所の種別(マスタ)	死亡の場所の種別(マスタ)		0380010	死亡の場所の種別について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.7 死因の種別(マスタ)	死因の種別(マスタ)		0380011	死因の種別について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.8 死産があったところの種別(マスタ)	死産があったところの種別(マスタ)		0380012	死産があったところの種別について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.9 日本・外国の区別(マスタ)	日本・外国の区別(マスタ)		0380013	日本・外国の区別について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.10 日本・外国・不詳の区別(マスタ)	日本・外国・不詳の区別(マスタ)		0380014	日本・外国・不詳の区別について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.11 国籍(マスタ)	国籍(マスタ)		0380015	国籍について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.12 世帯の主な仕事(マスタ)	世帯の主な仕事(マスタ)		0380016	世帯の主な仕事について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.13 職業(マスタ)	職業(マスタ)		0380017	職業について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.14 病名(マスタ)	病名(マスタ)		0380018	病名についてマスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.15 病院情報（病院名）(マスタ)	病院情報（病院名）(マスタ)		0380019	病院情報（病院名）についてマスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.16 病院情報（医師名）(マスタ)	病院情報（医師名）(マスタ)		0380020	病院情報（医師名）についてマスタで管理できること。			○	○	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.17 市区町村コード(マスタ)	市区町村コード(マスタ)		0380021	市区町村コードについてマスタで管理できること。 ※1 現在の市区町村コードの都道府県名、市・群名、区町村名の表示を参照し、使用予定の市区町村コード等及び使用開始年月日を入力できること。			◎	◎	自自治体について市区町村コードの管理及びメンテナンスができればよい。 標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J41008		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.18 支所・出張所コード(マスタ)	支所・出張所コード(マスタ)		0380022	支所・出張所コードについてマスタで管理できること。 ※1 現在の支所・出張所コードの表示を参照し、使用予定の支所・出張所コード及び使用開始年月日を入力できること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J42008		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.19 保健所コード(マスタ)	保健所コード(マスタ)		0380023	保健所コードについてマスタで管理できること。 ※1 現在の保健所コード、保健所名の表示を参照し、使用予定の保健所コード及び使用開始年月日を入力できること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J43008		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.20 掌握者(マスタ)	掌握者(マスタ)		0380024	首長名についてマスタで管理できること。 ※1 現在の首長名の表示を参照し、使用予定の首長名及び使用開始年月日を入力できること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J44008		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.21 マスタ共通	マスタ共通		0380025	各マスタ情報について、入力値によりファイルの書き換えができること。			○	○	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J41008、J42008、J43008、J44008		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.22 マスタ共通	マスタ共通		0380026	各マスタ情報を使用する全ての出力、内容審査は全て上記のマスタファイルを使用すること。 人口動態調査の性格から新旧2つの市区町村コード等（支所・出張所コード、保健所コード、首長名）及び使用予定の市区町村コード等を保有し、最初に新しいコード等を使用する時はこのファイル又はレコードの中で新旧及び使用予定のコード等の配列替えを行えること。 この機能は既存のシステムに組み込まれている場合、そちらを利用してもよい。（人口動態調査事務システムで要求する属性及びデータ利用に関する制限が守られている場合に限る）			○	○	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J41008		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.23 マスタ共通	マスタ共通		0380027	マスタ管理情報は、使用開始年月日による管理ができること。			○	○	マスタの変更スケジュールを事前登録し、自動的に切り替えることを可能とする。		令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳票作成管理機能	0.3.1 終了	終了		0380028	調査票等の作成等を途中で終了できること。 ※1 必要な項目の入力が終了していない場合は終了できない。 ※2 入力項目の内容審査を全て終了していない場合はこの機能を選択できない。			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳票作成管理機能	0.3.2 中断	中断		0380029	調査票等の作成等を中断し、入力値を初期化できること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00 共通	0.3 帳票作成管理機能	0.3.3 キャンセル	キャンセル		0380030	「人口動態項目入力」「全項目入力」「修正入力」において、入力値を初期値に戻すことができること。 ※1「人口動態項目入力」及び「修正入力」においては登録済みデータを表示する。 ※2「全項目入力」では全ての入力項目をゼロ又はスペースで表示する。			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳票作成管理機能	0.3.4 登録	登録		0380031	調査レコード及び市区町村レコードを登録できること。 ※1 必要項目の入力が終了していない場合及び入力項目の内容審査を全て終了していない場合は利用できない。			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳票作成管理機能	0.3.5 頁移動	頁移動		0380032	一覧表示及び1レコードを複数の画面に渡って展開する場合、頁移動ができること。 ※1 表示画面内で必要項目の入力が終了していない場合及び入力項目の単体チェックが完了していない場合は無効となる。 ※2 頁は当該処理内でのみ有効な概念で、処理を超えてこの機能が働くことはない。			○	○	標準仕様書第三版「3-1制御機能一覧」次頁、前項		令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳票作成管理機能	0.3.6 備考欄処理	備考欄処理		0380033	備考欄の入力終了が内容審査の終了も兼ねること。 ※1 備考欄への入力が終了すると、その項目に係る内容審査は終了したものとし、制御は次項目に移動する。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00 共通	0.3 帳票作成管理機能	0.3.7 確認欄処理	確認欄処理		0380034	入力項目の審査結果により、確認欄に該当する項目番号を自動で記載できること。			〇	〇			令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳票作成管理機能	0.3.8 確認欄処理	確認欄処理		0380035	確認欄の入力終了が内容審査の終了も兼ねること。 ※1 確認欄への入力が終了すると、その項目に係る内容審査は終了したものとし、制御は次項目に移動する。			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.4 一覧管理機能	0.4.1 EUC機能	EUC機能		0380036	EUC機能（「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」に規定するEUC機能をいう。）を利用して、データの抽出・分析・加工・出力ができること。 EUC機能へ連携するデータ項目は「地方公共団体情報システムデータ要件・連携要件標準仕様書」の「基本データリスト（人口動態調査事務システム）」の規定に従うこと。（人口動態調査事務システムとEUC機能を一体のパッケージとして構築する場合については、基本データリストに定義されたデータ項目を利用できることを前提に、基本データリスト外のデータ項目の利用も可能とする。） なお、機能別連携仕様にて他業務から取得しているデータ項目については、基本データリストにないデータ項目であっても、データソースの対象とし、データの型、桁数等は連携元である他業務の基本データリストの定義に従う必要がある。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整方針（令和5年6月改定版）による。 当要件は、人口動態調査事務共通として定義しており、各業務に付帯して必要となる要件は、各業務の機能・帳票要件に定義している。	EUC機能活用例 ・低出生体重児名簿 ・人口動態送付内訳 ・人口動態調査票出力対象一覧 ・人口動態調査票取扱集計表	令和8年4月1日
00 共通	0.4 一覧管理機能	0.4.2 二次利用注意喚起メッセージ	二次利用注意喚起メッセージ		0380037	機能ID：0380036において統計業務の二次利用となる場合は、注意喚起のメッセージを出力できること。			◎	◎		（参考）「統計データの二次利用の場合は、所定の手続きをしてください。」	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00 共通	0.4 一覧管理機能	0.4.3 検索結果	検索結果		0380038	一覧画面において、表示件数を定めるなど、検索に時間がかからない仕組みにすること。			○	○			令和8年4月1日
00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.1 電子公印	電子公印		0380039	公印が必要な帳票を出力する場合は、電子公印もしくは"（公印省略）"といった文言を印字できること。 ※1 帳票単位で設定した電子公印を印字すること。 なお、電子公印は複数管理でき、必要に応じて切替えができること。 ※2 職務代理者の公印印字も対応できること。 ※3 公印もしくは"（公印省略）"といった文言の印字有無をパラメタ等で設定できること。			◎	◎	帳票レイアウトに表記している「印」の部分については、公印もしくは"（公印省略）"といった文言を印字する場所を示すものであるため、公印もしくは"（公印省略）"といった文言を印字しない場合は、「印」の部分は表記しないこと。		令和8年4月1日
00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.2 事件簿番号	事件簿番号		0380040	事件簿番号を自動で採番できること。			○	○	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.3 一括出力	一括出力		0380041	出力可能な帳票が複数存在する場合、出力可能な帳票種類が一覧形式で表示され、一括で出力する帳票を指定できること。			◎	◎	・職員の利便性向上による。 ・出力可能な調査票が種類ごとに一覧形式で表示できること。		令和8年4月1日
00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.4 プリンタ選択	プリンタ選択		0380042	出力先のプリンタの設定ができること。			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.5 印刷設定	印刷設定		0380043	印刷時の出力プリンタの変更と用紙（カセット）指定ができること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.6 帳票設定	帳票設定		0380044	帳票の固定文言（教示文全体を含む）を管理できること。 ※1 各帳票のシステム印字項目単位に設定できること。 ※2 ※1に加え、管轄や所属等の印刷場所単位に設定できること。 ※3 印字有無、文言を設定できること。 ※4 文言は、次の管理ができること。 ・複数行（改行付き）を管理できること。 ・先頭文字に全角空白文字を設定できるなどインデントに対応できること。 ・文字の強調（ボールド、アンダーライン、文字サイズ等）は含まない			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.6 ログ管理機能	0.6.1 操作ログ	操作ログ		0380045	取得対象：(a)照会、(b)帳票発行、(c)調査票作成、(d)調査票修正、(e)調査票削除 記録対象：操作者ID、開始日時、終了日時、端末名、機能名			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.6 ログ管理機能	0.6.2 印刷ログ	印刷ログ		0380046	記録対象：印刷者ID、印刷日時、帳票名、操作者ID、印刷プリンタ（又は印刷端末名 ）、部数、公印出力の有無、発行番号			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.6 ログ管理機能	0.6.3 ログの分析	ログの分析		0380047	システムの利用者及び管理者のログについては、分析・ファイル出力が作成できること。			〇	〇			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00 共通	0.7 操作権限設定・管理機能	0.7.1 操作権限設定・管理	操作権限設定・管理		0380048	・システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でＩＤ及び パスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（入力処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。 ・職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。 ・操作者 ID とパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整方針（令和5年6月改定版）による。 認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
00 共通	0.7 操作権限設定・管理機能	0.7.2 操作権限設定・管理	操作権限設定・管理		0380049	・アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。 ・アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。 ・アクセス権限の付与も含めたユーザー情報の登録・変更・削除はスケジューラ―に設定する等、事前に準備ができること。 ・また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整方針（令和5年6月改定版）による。 認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
00 共通	0.7 操作権限設定・管理機能	0.7.3 操作権限設定・管理	操作権限設定・管理		0380050	・他の職員が調査票の作成を行っている間は、同一の調査票情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。 ・なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。 ・ID パスワードによる認証に加え、IC カードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。 ・複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。 ※1 認証の失敗回数は自治体の運用に合わせて任意で設定する。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整方針（令和5年6月改定版）による。 認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
00 共通	0.7 操作権限設定・管理機能	0.7.4 操作権限設定	操作権限設定		0380051	組織・職務・職位等での操作権限を設定できること。 操作権限一覧表で操作権限が設定できること。 シングルサインオンが使用できること。			○	○	標準仕様書間の横並び調整方針（令和5年6月改定版）による。		令和8年4月1日
00 共通	0.8 データ保存	0.8.1 データの蓄積	データの蓄積		0380052	過去のレコードを蓄積・保存できること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01調査票													
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.1 新規作成	新規作成		0380053	調査票の新規作成ができること。 ※1 戸籍情報システムからレコードを画面の各届書の様式上に表示できること。（死産票を除く） ※2 何も入力されていない各調査票の様式を画面に表示できること。（レコードが消失した場合）			◎	◎	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J31000		令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.2 作成	作成		0380054	機能ID：0380053において戸籍の処分決定又は決裁後に一連の流れで調査票を作成できること。			〇	〇			令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.3 入力	入力		0380055	人口動態調査出生票に、「子の氏名」「生まれたとき」「子の住所」等を入力できること。 ※1 下記のマスタ管理項目も任意入力可 （病院情報(病院名)、病院情報(医師名)）			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.4 入力	入力		0380056	人口動態調査死亡票に、「氏名」「死亡したとき」「死亡した人の住所」等を入力できること。 ※1 下記のマスタ管理項目も任意入力可 （病名、病院情報(病院名)、病院情報(医師名)）			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.5 入力	入力		0380057	人口動態調査死産票に、「父母の氏名」「死産があったとき」「死産があったときの母の住所」等を入力できること。 ※1 下記のマスタ管理項目も任意入力可 （病名、病院情報(病院名)、病院情報(医師名)）			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.6 入力	入力		0380058	人口動態調査婚姻票に、「夫の氏名」「妻の氏名」「夫の住所」等を入力できること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.7 入力	入力		0380059	人口動態調査離婚票に、「夫の氏名」「妻の氏名」「別居する前の住所」等を入力できること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.8 修正	修正		0380060	作成済みの調査票の内容を修正できること。 ※1 調査票一覧から修正したい調査票押下又は調査票を選択した状態で編集ボタン押下で、入力画面に遷移			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.9 入力値チェック	入力値チェック		0380061	機能ID：0380055～0380059での入力値について各調査票ごとの単体チェックを行うこと。			◎	◎	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」3-1-2、3-2-2		令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.10 単体チェック共通機能（必須項目）	必須項目		0380062	必須入力項目が入力されていることを確認できること。 ※1 必須入力項目が入力されていない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」共 「4-2画面メッセージ」M90039	（参考）「この項目は入力が必要です。必ず入力してください。」（M90039）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.11 単体チェック共通機能（属性）	属性		0380063	正しい属性が入力されていることを確認できること。 ※1 属性が正しく入力されていない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」共 「4-2画面メッセージ」M90049	（参考）「属性が間違っています。」（M90049）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.12 単体チェック共通機能（事件簿番号）	事件簿番号		0380064	「事件簿番号」の入力値が、0001～9999であることを確認できること。 ※1 重複する事件簿番号が存在する場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30041 「4-2画面メッセージ」M90059	(参考)「この事件簿番号はすでに入力済みです。入力ミス、二重入力または事件簿番号の付与エラーと思われます。確認してください。」(M90059)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.13 単体チェック共通機能（受付年月日）	受付年月日		0380065	「受付年月日」の入力値が、受付年月日≦入力年月日であることを確認できること。 ※1 受付年月日≦入力年月日でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30051 「4-2画面メッセージ」M90069	(参考)「本日より後の日付で届出を受付することはありません。修正してください。」(M90069)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.14 出生票単体チェック機能（子、父、母の氏名）	子の氏名、父の氏名、母の氏名		0380066	「子の氏名」、「父の氏名」、「母の氏名」の入力値が、JIS第1,2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1,2水準以内の文字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30061、K30141、K30161 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行して下さい。」(M90079)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.15 出生票単体チェック機能（続き柄及び性別）	続き柄及び性別		0380067	「続き柄」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 嫡出子 ・2 非嫡出子 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30071 「4-1コードテーブル」D20019 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.16 出生票単体チェック機能（続き柄及び性別）	続き柄及び性別		0380068	「性別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 男 ・2 女 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30081 「4-1コードテーブル」D20029 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.17 出生票単体チェック機能（出生日時）	出生日時		0380069	「出生日時」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。 ※2 出生年月日が大正以前である場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」 M90019、M00011	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019) (参考)「出生年月日が大正以前です。修正するか、誤りでなければ備考欄に項目番号を記載してください。」(M00011)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.18 出生票単体チェック機能（出生日時）	出生日時		0380070	「出生日時」の年月日の入力値が入力可能な数字であることを確認できること。 ※1 年月日が入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入力されました。再入力してください。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.19 出生票単体チェック機能（出生日時）	出生日時		0380071	「出生日時」の時間の入力値がスペースでなく、以下の範囲であることを確認できること。 ・0～11 ※1 範囲外の時間である場合、メッセージを表示すること。 ※2 出生時間が入力されていない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-2画面メッセージ」 M90029、M00021	(参考)「範囲外の数字が入力されました。再入力してください。」(M90029) (参考)「出生時間が入力してありません。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00021)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.20 出生票単体チェック機能（出生日時）	出生日時		0380072	「出生日時」の午前/午後の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.21 出生票単体チェック機能（生まれたところ）	生まれたところ		0380073	「生まれたところ」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30101 「4-1コードテーブル」D20059 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.22 出生票単体チェック機能（子の住所（日本・外国の区分））	子の住所（日本・外国の区分）		0380074	「子の住所（日本・外国の区分）」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30121 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.23 出生票単体チェック機能（父、母の生年月日）	父の生年月日、母の生年月日		0380075	「父の生年月日」、「母の生年月日」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。 ※2 大正以降でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30151 「4-1コードテーブル」D20011 「4-2画面メッセージ」 M90019、M00031	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019) (参考)「父の生年月日が明治以前です。修正するか、誤りでなければ備考欄にその旨記載してください。」(M00031)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.24 出生票単体チェック機能（母の生年月日）	母の生年月日		0380076	「母の生年月日」の入力値より計算した母の年齢が50歳未満であることを確認できること。 ※1 50歳以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30171 「4-2画面メッセージ」M00019	(参考)「母の年齢が50歳以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.25 出生票単体チェック機能（父、母の国籍）	父の国籍、母の国籍		0380077	「父の国籍」、「母の国籍」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30191、K30211 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.26 出生票単体チェック機能（同居を始めたとき）	同居を始めたとき		0380078	「同居を始めたとき」の入力値がスペースでないことを確認できること。 ※1「元号」「年」「月」のいずれか1つでもスペースである場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30221 「4-2画面メッセージ」M00109	(参考)「「元号」「年」「月」すべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00109)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.27 出生票単体チェック機能（同居を始めたとき）	同居を始めたとき		0380079	「同居を始めたとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30221 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.28 出生票単体チェック機能（子が生まれたときの世帯の主な仕事）	子が生まれたときの世帯の主な仕事		0380080	「子が生まれたときの世帯の主な仕事」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30231 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.29 出生票単体チェック機能（他の子の事件簿番号・種別）	他の子の事件簿番号・種別		0380081	「他の子の事件簿番号・種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 出生票 ・2 死産票 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30261 「4-1コードテーブル」D20169 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.30 出生票単体チェック機能（他の子の事件簿番号・番号）	他の子の事件簿番号・番号		0380082	「他の子の事件簿番号・番号」の入力値が0001～9999であることを確認できること。 ※1 0001～9999以外の数字の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30271 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入力されました。再入力してください。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.31 出生票単体チェック機能（出生場所種別）	出生場所種別		0380083	「出生場所種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 病院 ・2 診療所 ・3 助産所 ・4 自宅 ・5 その他 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30281 「4-1コードテーブル」D20099 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.32 出生票単体チェック機能（子の体重）	子の体重		0380084	「子の体重」の入力値が500g≦体重＜6000gであることを確認できること。 ※1 子の体重が500g未満及び6000g以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30301 「4-2画面メッセージ」M00059	（参考）「体重が0.5kg～6kgの範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00059）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.33 出生票単体チェック機能（体重、身長不詳）	体重不詳、身長不詳		0380085	「体重不詳」、「身長不詳」の入力値が以下の値またはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字またはスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30311、K30331 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	（参考）「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」（M90019）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.34 出生票単体チェック機能（子の身長）	子の身長		0380086	「子の身長」の入力値が27cm≦身長＜58cmであることを確認できること。 ※1 27cm≦身長＜58cmでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30321 「4-2画面メッセージ」M00301	（参考）「身長が27cm～57cmの範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00301）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.35 出生票単体チェック機能（単胎・多胎の別）	単胎・多胎の別		0380087	「単胎・多胎の別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 単胎 ・2 多胎 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30341 「4-1コードテーブル」D20179 「4-2画面メッセージ」M90019	（参考）「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」（M90019）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.36 出生票単体チェック機能（妊娠期間・週数）	妊娠期間・週数		0380088	「妊娠期間・週数」の入力値がスペースでないことを確認できること。 ※1 妊娠週数がスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30371 「4-2画面メッセージ」M00049	（参考）「妊娠週数は入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00049）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.37 出生票単体チェック機能（妊娠期間・週数）	妊娠期間・週数		0380089	「妊娠期間・週数」の入力値が21＜妊娠週数＜44であることを確認できること。 ※1 21＜妊娠週数＜44の範囲にない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30371 「4-2画面メッセージ」M00039	(参考)「妊娠週数が22～43週の範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00039)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.38 出生票単体チェック機能（妊娠期間・日数）	妊娠期間・日数		0380090	「妊娠期間・日数」の入力値が0≦妊娠日数＜7であることを確認できること。 ※1 妊娠日数が0≦妊娠日数＜7の範囲にない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30381 「4-2画面メッセージ」M00209	(参考)「妊娠週数が0～6日の範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00209)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.39 出生票単体チェック機能（立会者）	立会者		0380091	「立会者」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 医師 ・2 助産師 ・3 その他 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30411 「4-1コードテーブル」D20119 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.40 死亡票単体チェック機能（氏名）	氏名		0380092	「氏名」の入力値がJIS第1,2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1,2水準以外の文字の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30062 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行して下さい。」(M90079)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.41 死亡票単体チェック機能（性別）	性別		0380093	「性別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 男 ・2 女 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30072 「4-1コードテーブル」D20029 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.42 死亡票単体チェック機能（生年月日）	生年月日		0380094	「生年月日」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 明治 ・2 大正 ・3 昭和 ・4 平成 ・5 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-1コードテーブル」D20012 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.43 死亡票単体チェック機能（生年月日）	生年月日		0380095	「生年月日」の入力値が、死亡者が生後30日以内のときは、午前・午後、時間はスペースでなく選択可能な数字が入力されていることを確認できること。また、午前/午後の入力値は以下の範囲であること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 死亡者が生後30日以内にも関わらず、午前・午後、時間が入力されていない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」 M90019、M90029	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019) (参考)「範囲外の数字が入力されました。再入力してください。」(M90029)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.44 死亡票単体チェック機能（生年月日）	生年月日		0380096	「生年月日」の入力値が、「月」以降がスペースなのは「推定」の場合のみであることを確認できること。 ※1「推定」でないにも関わらず生年月日「月」以降がスペースである場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-2画面メッセージ」M00012	(参考)「「月」以降がスペースです。修正するか、「推定」の場合は、備考欄にその旨記載してください。」(M00012)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.45 死亡票単体チェック機能（生年月日）	生年月日		0380097	「生年月日」の入力値から計算した死亡者の年齢が100歳未満であることを確認できること。 ※1 死亡者の年齢が100歳以上である場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-2画面メッセージ」M00022	(参考)「死亡者の年齢が100歳以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00022)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.46 死亡票単体チェック機能（生年月日不詳）	生年月日不詳		0380098	「生年月日不詳」の入力値が以下の範囲またはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30092 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.47 死亡票単体チェック機能（死亡したとき）	死亡したとき		0380099	「死亡したとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.48 死亡票単体チェック機能（死亡したとき）	死亡したとき		0380100	「死亡したとき」の午前/午後の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.49 死亡票単体チェック機能（死亡したとき）	死亡したとき		0380101	「死亡したとき」の日付、時間の入力値が入力範囲内であることを確認できること。 ※1 範囲外の時間である場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入力されました。再入力してください。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.50 死亡票単体チェック機能（死亡したとき）	死亡したとき		0380102	「死亡したとき」の入力値が「月」以降がスペースなのは「推定」の場合のみであることを確認できること。 ※1「推定」でないにも関わらず死亡したときの「月」以降がスペースである場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-2画面メッセージ」M00012	(参考)「「月」以降がスペースです。修正するか、「推定」の場合は、備考欄にその旨記載してください。」(M00012)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.51 死亡票単体チェック機能（死亡したとき不詳）	死亡したとき不詳		0380103	「死亡したとき不詳」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30112 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.52 死亡票単体チェック機能（死亡したところ）	死亡したところ		0380104	「死亡したところ」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30122 「4-1コードテーブル」D20059 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.53 死亡票単体チェック機能（死亡した人の住所(日本・外国の区分)）	死亡した人の住所(日本・外国の区分)		0380105	「死亡した人の住所（日本・外国の区分）」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30132 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.54 死亡票単体チェック機能（国籍）	国籍		0380106	「国籍」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30172 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.55 死亡票単体チェック機能（死亡した人の配偶者）	死亡した人の配偶者		0380107	「死亡した人の配偶者」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 いる ・2 未婚 ・3 死別 ・4 離別 ・5 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30182 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.56 死亡票単体チェック機能（死亡したときの世帯の主な仕事）	死亡したときの世帯の主な仕事		0380108	「死亡したときの世帯の主な仕事」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30202 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.57 死亡票単体チェック機能（死亡の場所の種別）	死亡の場所の種別		0380109	「死亡の場所の種別」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30232 「4-1コードテーブル」D20042 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.58 死亡票単体チェック機能（手術、解剖の有無）	手術の有無、解剖の有無		0380110	「手術の有無」、「解剖の有無」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 無 ・2 有 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30352、K30382 「4-1コードテーブル」D20139 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.59 死亡票単体チェック機能（手術の年月日）	手術の年月日		0380111	「手術の年月日」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30372 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.60 死亡票単体チェック機能（手術の年月日）	手術の年月日		0380112	「手術の年月日」の日付の入力値が入力可能数値の範囲内であることを確認できること。 ※1「手術の年月日」の入力がない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30372 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.61 死亡票単体チェック機能（手術の年月日）	手術の年月日		0380113	手術の有無が「有」の場合、「手術の年月日」が入力されていることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎		(参考)「手術の有無が「有」ですが、手術年月日が空欄です。入力内容を確認してください。」(新規)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.62 死亡票単体チェック機能（死因の種類）	死因の種類		0380114	「死因の種類」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30402 「4-1コードテーブル」D20032 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.63 死亡票単体チェック機能（傷害発生年月日時分）	傷害発生年月日時分		0380115	「傷害発生年月日時分」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30412 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.64 死亡票単体チェック機能（傷害発生年月日時分）	傷害発生年月日時分		0380116	「傷害発生年月日時分」の午前/午後の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30412 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.65 死亡票単体チェック機能（傷害発生年月日時分）	傷害発生年月日時分		0380117	「傷害発生年月日時分」の日付及び時間の入力値が入力可能数値の範囲内であることを確認できること。 ※1 範囲外の数字が入力された場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30412 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入力されました。再入力してください。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.66 死亡票単体チェック機能（傷害が発生した場所種別）	傷害が発生した場所種別		0380118	「傷害が発生した場所種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 住居 ・2 工場・建築現場 ・3 道路 ・4 その他 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30432 「4-1コードテーブル」D20052 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.67 死亡票単体チェック機能（出生時体重）	出生時体重		0380119	「出生時体重」の入力値が500g≦体重＜6000gであることを確認できること。 ※1 500g≦体重＜6000gでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30462 「4-2画面メッセージ」M90059	(参考)「体重が0.5kg～6kgの範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00059)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.68 死亡票単体チェック機能（出生時体重不詳）	出生時体重不詳		0380120	「出生時体重不詳」の入力値が以下の値またはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30472 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.69 死亡票単体チェック機能（単胎・多胎の別）	単胎・多胎の別		0380121	「単胎・多胎の別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 単胎 ・2 多胎 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30482 「4-1コードテーブル」D20179 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.70 死亡票単体チェック機能（妊娠週数）	妊娠週数		0380122	「妊娠週数」の入力値が21＜妊娠週数＜44であることを確認できること。 ※1 妊娠週数が21＜妊娠週数＜44でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30512 「4-2画面メッセージ」M00039	(参考)「妊娠週数が22～43週の範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00039)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.71 死亡票単体チェック機能（妊娠週数）	妊娠週数		0380123	「妊娠週数」の入力値がスペースでないことを確認できること。 ※1 妊娠週数がスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30512 「4-2画面メッセージ」M00049	(参考)「妊娠週数は入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00049)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.72 死亡票単体チェック機能（妊娠週数・不詳）	妊娠週数・不詳		0380124	「妊娠週数・不詳」の入力値が以下の値またはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30522 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.73 死亡票単体チェック機能（母体の病態・異状の有無）	母体の病態・異状の有無		0380125	「母体の病態・異状の有無」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 無 ・2 有 ・3 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30532 「4-1コードテーブル」D20062 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.74 死亡票単体チェック機能（母の生年月日）	母の生年月日		0380126	「母の生年月日」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30552 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.75 死亡票単体チェック機能（母の生年月日）	母の生年月日		0380127	「母の生年月日」の日付の入力値が入力可能数値の範囲内であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30552 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.76 死亡票単体チェック機能（母の生年月日）	母の生年月日		0380128	「母の生年月日」から計算した母の年齢が15歳以上50歳未満であることを確認できること。 ※1 母の年齢が15歳未満又は50歳以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30552 「4-2画面メッセージ」M00342	(参考)「母の年齢が15歳未満または50歳以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00342)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.77 死亡票単体チェック機能（医師名）	医師名		0380129	「医師名」の入力値がJIS第1,2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1,2水準以外の文字の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30602 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行してください。」(M90079)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.78 死産票単体チェック機能（父、母の国籍）	父の国籍、母の国籍		0380130	「父の国籍」、「母の国籍」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30073、K30093 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.79 死産票単体チェック機能（父、母の氏名）	父の氏名、母の氏名		0380131	「父の氏名」、「母の氏名」の入力値がJIS第1,2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1,2水準以外の文字である場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30103、K30133 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行してください。」(M90079)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.80 死産票単体チェック機能（父、母の生年月日）	父の生年月日、母の生年月日		0380132	「父の生年月日」、「母の生年月日」の入力値が「元号」「年」「月」「日」いずれもスペースでないことを確認できること。 ※1「元号」「年」「月」「日」いずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30113、K30143 「4-2画面メッセージ」M00013	(参考)「「元号」「年」「月」「日」のすべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00013)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.81 死産票単体チェック機能（母の年齢）	母の年齢		0380133	「母の年齢」の入力値が50歳未満であることを確認できること。 ※1 50歳以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30153 「4-2画面メッセージ」M00019	(参考)「母の年齢が50歳以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.82 死産票単体チェック機能（死産児の男女別）	死産児の男女別		0380134	「死産児の男女別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 男 ・2 女 ・3 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30163 「4-1コードテーブル」D20013 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.83 死産票単体チェック機能（死産児の続き柄）	死産児の続き柄		0380135	「死産児の続き柄」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 嫡出子 ・2 非嫡出子 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30173 「4-1コードテーブル」D20019 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.84 死産票単体チェック機能（死産があったとき）	死産があったとき		0380136	「死産があったとき」の元号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.85 死産票単体チェック機能（死産があったとき）	死産があったとき		0380137	「死産があったとき」の午前/午後の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.86 死産票単体チェック機能（死産があったとき）	死産があったとき		0380138	「死産があったとき」の入力値が、「元号」「年」「月」「日」のいずれもスペースでないことを確認できること。 ※1「元号」「年」「月」「日」のいずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-2画面メッセージ」M00013	(参考)「「元号」「年」「月」「日」のすべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00013)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.87 死産票単体チェック機能（死産があったとき）	死産があったとき		0380139	「死産があったとき」の日付及び時間の入力値が入力可能数値の範囲内であることを確認できること。 ※1 範囲外の時間である場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入力されました。再入力してください。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.88 死産票単体チェック機能（死産があったところ(日本・外国の区分)）	死産があったところ(日本・外国の区分)		0380140	「死産があったところ（日本・外国の区分）」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30203 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.89 死産票単体チェック機能（死産時の世帯の主な仕事）	死産時の世帯の主な仕事		0380141	「死産時の世帯の主な仕事」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30233 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.90 死産票単体チェック機能（22週以後の死産児数、21週以前の死産児数）	22週以後の死産児数、21週以前の死産児数		0380142	「22週以後の死産児数」、「21週以前の死産児数」の入力値が必ず一方の欄には記載があることを確認できること。 ※1 どちらにも記載がない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30273、K30283 「4-2画面メッセージ」M00023	(参考)「この欄はこの死産児も含むので、必ずどちらかの欄に記載が必要です。修正してください。」(M00023)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.91 死産票単体チェック機能（妊娠期間・週数）	妊娠期間・週数		0380143	「妊娠期間・週数」の入力値が11＜妊娠週数＜44であることを確認できること。 ※1 妊娠週数が11週以前又は、44週以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30293 「4-2画面メッセージ」 M00033、M00043	11週以前の場合(参考)「妊娠週数が11週以前の死産はありえません。修正してください。」(M00033) 44週以上の場合(参考)「妊娠週数が44週以上になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00043)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.92 死産票単体チェック機能（妊娠期間・日数）	妊娠期間・日数		0380144	「妊娠期間・日数」の入力値が0≦妊娠日数＜7であることを確認できること。 ※1 妊娠日数が0≦妊娠日数＜7の範囲外の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30303 「4-2画面メッセージ」M00209	(参考)「妊娠日数が0～6日の範囲にありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00209)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.93 死産票単体チェック機能（死産児の体重）	死産児の体重		0380145	「死産児の体重」の入力値が体重＜4500gであることを確認できること。 ※1 体重が4500g以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30313 「4-2画面メッセージ」M00053	(参考)「体重が4500g以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00053)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.94 死産票単体チェック機能（死産児の身長）	死産児の身長		0380146	「死産児の身長」の入力値が身長＜58cmであることを確認できること。 ※1 身長が58cm以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30333 「4-2画面メッセージ」M00303	(参考)「身長が58cm以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00303)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.95 死産票単体チェック機能（体重、身長不詳）	体重不詳、身長不詳		0380147	「体重不詳」、「身長不詳」の入力値が以下の値またはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30323、K30343 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.96 死産票単体チェック機能（胎児死亡の時期）	胎児死亡の時期		0380148	「胎児死亡の時期」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 分娩前 ・2 分娩中 ・3 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30353 「4-1コードテーブル」D20023 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.97 死産票単体チェック機能（胎児死亡の時期）	胎児死亡の時期		0380149	妊娠期間（週数）が22週未満の場合、「胎児の死亡時期」の入力がないことを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎		(参考)「妊娠週数が22週未満ですが、胎児の死亡時期が入力されています。入力内容を確認してください。」(新規)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.98 死産票単体チェック機能（死産があったところの種別）	死産があったところの種別		0380150	「死産があったところの種別」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30363 「4-1コードテーブル」D20099 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.99 死産票単体チェック機能（単胎・多胎の別）	単胎・多胎の別		0380151	「単胎・多胎の別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 単胎 ・2 多胎 ・3 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30383 「4-1コードテーブル」D20073 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.100 死産票単体チェック機能（他の子の事件簿番号・種別）	他の子の事件簿番号・種別		0380152	「他の子の事件簿番号・種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 出生票 ・2 死産票 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30413 「4-1コードテーブル」D20169 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.101 死産票単体チェック機能（他の子の事件簿番号・番号）	他の子の事件簿番号・番号		0380153	「他の子の事件簿番号・番号」の入力値が0001～9999であることを確認できること。 ※1 0001～9999以外の数字の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30423 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入力されました。再入力してください。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.102 死産票単体チェック機能（死産の自然・人工別）	死産の自然・人工別		0380154	「死産の自然・人工別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 自然 ・2 法による ・3 法によらない ・4 不明 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30433 「4-1コードテーブル」D20033 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.103 死産票単体チェック機能（死産の自然・人工別の理由）	死産の自然・人工別の理由		0380155	「死産の自然・人工別の理由」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 胎児側のみ ・2 母側のみ ・3 双方 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30443 「4-1コードテーブル」D20043 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.104 死産票単体チェック機能（人工死産の理由）	人工死産の理由		0380156	「人工死産の理由」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 母体側 ・2 その他 ・3 双方 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30553 「4-1コードテーブル」D20053 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.105 死産票単体チェック機能（胎児手術、胎児解剖の有無）	胎児手術の有無、胎児解剖の有無		0380157	「胎児手術の有無」、「胎児解剖の有無」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 無 ・2 有 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30573、K30593 「4-1コードテーブル」D20139 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.106 死産票単体チェック機能（死産に立ち会った者）	死産に立ち会った者		0380158	「死産に立ち会った者」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 医師 ・2 助産師 ・3 その他 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30613 「4-1コードテーブル」D20119 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.107 婚姻票単体チェック機能（市区町村受付月）	市区町村受付月		0380159	「市区町村受付月」の入力値が1～12であることを確認できること。 ※1 1～12以外の数字の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30064 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入力されました。再入力してください。」(M90029)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.108 婚姻票単体チェック機能（夫、妻の氏名）	夫の氏名、妻の氏名		0380160	「夫の氏名」、「妻の氏名」の入力値がJIS第1,2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1,2水準以外の文字の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30074、K30094 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行してください。」(M90079)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.109 婚姻票単体チェック機能（夫、妻の生年月）	夫の生年月、妻の生年月		0380161	「夫の生年月」、「妻の生年月」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 明治 ・2 大正 ・3 昭和 ・4 平成 ・5 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30084、K30104 「4-1コードテーブル」D20149 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.110 婚姻票単体チェック機能（夫、妻の国籍）	夫の国籍、妻の国籍		0380162	「夫の国籍」、「妻の国籍」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30124、K30144 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.111 婚姻票単体チェック機能（夫の住所(日本・外国の区分)）	夫の住所（日本・外国の区分）		0380163	「夫の住所（日本・外国の区分）」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30164 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.112 婚姻票単体チェック機能（婚姻後の夫婦の氏）	婚姻後の夫婦の氏		0380164	「婚姻後の夫婦の氏」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 夫の氏 ・2 妻の氏 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30174 「4-1コードテーブル」D20014 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.113 婚姻票単体チェック機能（同居を始めたとき）	同居を始めたとき		0380165	「同居を始めたとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30184 「4-1コードテーブル」D20159 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.114 婚姻票単体チェック機能（同居を始めたとき）	同居を始めたとき		0380166	「同居を始めたとき」の入力値が、「元号」「年」「月」いずれもスペースでないことを確認できること。 ※1「元号」「年」「月」いずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30184 「4-2画面メッセージ」M90109	(参考)「「元号」「年」「月」すべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M90109)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.115 婚姻票単体チェック機能（夫、妻の初婚・再婚の別）	夫の初婚・再婚の別、妻の初婚・再婚の別		0380167	「夫の初婚・再婚の別」、「妻の初婚・再婚の別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 初婚 ・2 死別後再婚 ・3 離別後再婚 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30194、K30214 「4-1コードテーブル」D20024 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.116 婚姻票単体チェック機能（夫、妻の初婚・再婚の別）	夫の初婚・再婚の別、妻の初婚・再婚の別		0380168	夫の年齢が70歳以上の場合、初婚でないことを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎		(参考)「夫の年齢が70歳以上ですが、初婚です。入力内容を確認してください。」(新規)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.117 婚姻票単体チェック機能（夫、妻の初婚・再婚の別）	夫の初婚・再婚の別、妻の初婚・再婚の別		0380169	妻の年齢が70歳以上の場合、初婚でないことを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎		(参考)「妻の年齢が70歳以上ですが、初婚です。入力内容を確認してください。」(新規)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.118 婚姻票単体チェック機能（夫、妻の死・離別年月）	夫の死・離別年月、妻の死・離別年月		0380170	「夫の死・離別年月」、「妻の死・離別年月」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30204、K30224 「4-1コードテーブル」D20159 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.119 婚姻票単体チェック機能（同居前の夫、妻それぞれの世帯の主な仕事）	同居前の夫の世帯の主な仕事、同居前の妻の世帯の主な仕事		0380171	「同居前の夫の世帯の主な仕事」、「同居前の妻の世帯の主な仕事」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30234、K30244 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.120 離婚票単体チェック機能（市区町村受付月）	市区町村受付月		0380172	「市区町村受付月」の入力値が1～12であることを確認できること。 ※1 1～12以外の数字の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30065 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入力されました。再入力してください。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.121 離婚票単体チェック機能（夫、妻の氏名）	夫の氏名、妻の氏名		0380173	「夫の氏名」、「妻の氏名」の入力値がJIS第1,2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1,2水準以外の文字の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30075、K30095 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれています。ヨミガナを入力するか、処理を続行してください。」(M90079)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.122 離婚票単体チェック機能（夫、妻の生年月）	夫の生年月、妻の生年月		0380174	「夫の生年月」、「妻の生年月」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 明治 ・2 大正 ・3 昭和 ・4 平成 ・5 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30085、K30105 「4-1コードテーブル」D20149 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.123 離婚票単体チェック機能（夫、妻の国籍）	夫の国籍、妻の国籍		0380175	「夫の国籍」、「妻の国籍」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30125、K30145 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.124 離婚票単体チェック機能（離婚の種別）	離婚の種別		0380176	「離婚の種別」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 協議 ・2 調停 ・3 審判 ・4 判決 ・5 和解 ・6 請求の認諾 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30155 「4-1コードテーブル」D20015 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.125 離婚票単体チェック機能（調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月）	調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月		0380177	「調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30165 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.126 離婚票単体チェック機能（別居する前の住所(日本・外国の区分)）	別居する前の住所(日本・外国の区分)		0380178	「別居する前の住所（日本・外国の区分）」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30185 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.127 離婚票単体チェック機能（父、母が親権を行う子の数）	父が親権を行う子の数、母が親権を行う子の数		0380179	「父母双方が親権を行う子の数」、「父（夫）が親権を行う子の数」、「母（妻）が親権を行う子の数」、「親権者の指定を求める家事審判又は家事調停の申立てがされている子の数」の入力値の合計が7人未満であることを確認できること。 ※1 7人以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30195、K30205 「4-2画面メッセージ」M00015	(参考)「親権を行う子の数が多すぎます。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00015)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.128 離婚票単体チェック機能（同居を始めたとき）	同居を始めたとき		0380180	「同居を始めたとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30215 「4-1コードテーブル」D20159 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.129 離婚票単体チェック機能（同居を始めたとき）	同居を始めたとき		0380181	「同居を始めたとき」の入力値が、「元号」「年」「月」のいずれもスペースでないことを確認できること。 ※1「元号」「年」「月」のいずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30215 「4-2画面メッセージ」M90109	(参考)「「元号」「年」「月」のすべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M90109)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.130 離婚票単体チェック機能（別居したとき）	別居したとき		0380182	「別居したとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30225 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.131 離婚票単体チェック機能（別居したとき)]	別居したとき		0380183	「別居したとき」の入力値が、「元号」「年」「月」のいずれもスペースでないことを確認できること。 ※1「元号」「年」「月」のいずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30225 「4-2画面メッセージ」M90109	(参考)「「元号」「年」「月」のすべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M90109)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.132 離婚票単体チェック機能（別居前の世帯の主な仕事）	別居前の世帯の主な仕事		0380184	「別居前の世帯の主な仕事」の入力値がマスタデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30235 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.133 保存	保存		0380185	調査票情報を保存できること。 ※1 一時保存も可能であること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.134 関連チェック	関連チェック		0380186	各調査票「登録」処理時、入力値について必要な関連チェックを行うこと。 ※1 機能ID：0380061の単体チェック及び関連チェックにおいてエラーがあればメッセージを発行し正しい値の入力まで繰り返すこと。 ※2 ※1の結果全ての内容審査を終了した時、レコードを人口動態調査マスタファイルに書き込むこと。			◎	◎	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J31000項 No.3-1-3～5、J32000項 No.3-2-3～5、J33000項 No.3-3-5～7		令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.135 出生票関連チェック機能（2022年3月31日以前の嫡出子の父母の年齢制限）	2022年3月31日以前の嫡出子の父母の年齢制限		0380187	出生日時が2022年3月31日以前かつ、続き柄＝1（嫡出子）のとき、父の生年月日から計算した「子が生まれたときの父の年齢」が18歳以上、母の生年月日から計算した「子が生まれたときの母の年齢」が16歳以上であることを確認できること。 ※1 嫡出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30011 「4-2画面メッセージ」M00119	（参考）「嫡出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00119)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.136 出生票関連チェック機能（非嫡出子の父親欄）	非嫡出子の父親欄		0380188	続き柄＝2（非嫡出子）のとき、父の氏名、父の生年月日及び父の国籍はスペースであることを確認できること。 ※1 父に関する項目に値が入力されている場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30021 「4-2画面メッセージ」M00129	（参考）「非嫡出子の父に関する項目の入力はできません。修正してください。」(M00129)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.137 出生票関連チェック機能（非嫡出子の父親欄）	非嫡出子の父親欄と母の国籍		0380189	続き柄＝2（非嫡出子）かつ「母の国籍」が日本以外であることを確認できること。 ※1 非嫡出子かつ母の国籍が日本以外の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎		（参考）「胎児認知届が届出されているかを確認してください。」(新規)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.138 出生票関連チェック機能（非嫡出子の母の年齢制限）	非嫡出子の母の年齢制限		0380190	続き柄＝2（非嫡出子）、母の生年月日から計算した「子が生まれたときの母の年齢」が15歳以上であることを確認できること。 ※1 母の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30031 「4-2画面メッセージ」M00139	（参考）「非嫡出子の母の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00139）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.139 出生票関連チェック機能（非嫡出子の同居を始めたとき欄）	非嫡出子の同居を始めたとき欄		0380191	続き柄＝2（非嫡出子）のとき、同居を始めたときがスペースであることを確認できること。 ※1 同居を始めたときがスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30041 「4-2画面メッセージ」M00041	（参考）「非嫡出子の場合、同居を始めたときの入力は必要ありません。修正してください。」（M00041）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.140 出生票関連チェック機能（嫡出子の同居を始めたとき欄）	嫡出子の同居を始めたとき欄		0380192	続き柄＝1（嫡出子）のとき、同居を始めたときがスペースでないことを確認できること。 ※1 同居を始めたときがスペースである場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30051 「4-2画面メッセージ」M00051	（参考）「嫡出子の場合、同居を始めたときの入力が必要です。入力してください。」（M00051）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.141 出生票関連チェック機能（嫡出子の父母の年齢制限）	嫡出子の父母の年齢制限		0380193	続き柄＝1（嫡出子）のとき、父の生年月日から計算した、同居を始めたときの父の年齢が15歳以上、母の生年月日から計算した、同居を始めたときの母の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 父母の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30061 「4-2画面メッセージ」M00139	（参考）「嫡出子の父母の同居開始時の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00139）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.142 出生票関連チェック機能（2022年4月1日以降の嫡出子の父母の年齢制限）	2022年4月1日以降の嫡出子の父母の年齢制限		0380194	出生日時が2022年4月1日以降かつ、続き柄＝1（嫡出子）のとき、父の生年月日から計算した、「子が生まれたときの父の年齢」が18歳以上、または、母の生年月日が2006年4月2日以降のとき、母の生年月日から計算した「子が生まれたときの母の年齢」が18歳以上であることを確認できること。 ※1 父母の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30201 「4-2画面メッセージ」M00259	（参考）「嫡出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が18歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00259）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.143 出生票関連チェック機能（子の体重と体重不詳の関係）	子の体重と体重不詳の関係		0380195	子の体重がスペースのとき、体重不詳＝1（不詳）であることを確認できること。 ※1 体重不詳にチェックが入っていない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30071 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00069	（参考）「体重欄、体重不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00069）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.144 出生票関連チェック機能（子の体重と体重不詳の関係）	子の体重と体重不詳の関係		0380196	体重不詳＝1（不詳）のとき、子の体重はスペースであることを確認できること。 ※1 子の体重がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30081 「4-2画面メッセージ」M00079	（参考）「体重欄と体重不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。」（M00079）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.145 出生票関連チェック機能（子の身長と身長不詳の関係）	子の身長と身長不詳の関係		0380197	子の身長がスペースのとき、身長不詳＝1（不詳）であることを確認できること。 ※1 身長不詳にチェックが入っていない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30091 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00159	（参考）「身長欄と身長不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00159）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.146 出生票関連チェック機能（子の身長と身長不詳の関係）	子の身長と身長不詳の関係		0380198	身長不詳＝1（不詳）のとき、子の身長はスペースであることを確認できること。 ※1 子の身長がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30101 「4-2画面メッセージ」M00169	（参考）「身長欄と身長不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。」（M00169）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.147 出生票関連チェック機能（子の住所と居住地の関係(戸籍情報システムとデータ連携する場合)）	子の住所と居住地の関係(戸籍情報システムとデータ連携する場合)		0380199	戸籍情報システムからの送付データの場合、子の住所と居住地の関係について、以下の内容に該当することを確認できること。 【子の住所と居住地関連チェック項目】 ・受領した市区町村コード（子の住所）と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・受領した市区町村コード（子の住所）と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30111 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M00029	（参考）「「届書受付市区町村コードと住所地の市区町村コードの関係」と「同・否」との関係が矛盾しています。修正してください。」（M00029）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.148 出生票関連チェック機能（子の住所と居住地の関係(戸籍情報システムとデータ連携しない場合)）	子の住所と居住地の関係(戸籍情報システムとデータ連携しない場合)		0380200	全項目を人口動態調査事務システムで入力した場合、子の住所と居住地の関係について、以下の内容に該当することを確認できること。 【子の住所と居住地関連チェック項目】 ・入力した市区町村コード（子の住所）と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・入力した市区町村コード（子の住所）と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30111 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M00029	（参考）「「届書受付市区町村コードと住所地の市区町村コードの関係」と「同・否」との関係が矛盾しています。修正してください。」（M00029）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.149 出生票関連チェック機能（多胎と出産順位の関係）	多胎と出産順位の関係		0380201	多胎の場合、多胎の種類・出産順位の両方が入力してあることを確認できること。 ※1 多胎の種類、出産順位が未入力の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30121 「4-2画面メッセージ」M00089	(参考)「多胎の場合、「多胎の種類・順位」の入力が必要です。入力してください。」(M00089)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.150 出生票関連チェック機能（多胎と出産順位の関係）	多胎と出産順位の関係		0380202	多胎の場合、多胎の種類≧出産順位であることを確認できること。 ※1 多胎の種類≧出産順位でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30131 「4-2画面メッセージ」M00099	(参考)「多胎の場合、「出産順位」が「多胎の種類」を上回ることはありません。修正してください。」(M00099)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.151 出生票関連チェック機能（多胎と出産順位の関係）	多胎と出産順位の関係		0380203	多胎の場合、他の子の事件簿番号（出生・死産の別及び事件簿番号）がスペースでないことを確認できること。 ※1 他の子の事件簿番号がスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30141 「4-2画面メッセージ」M00179	(参考)「多胎の場合、他の子の事件簿番号の入力が必要です。入力してください。」(M00179)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.152 出生票関連チェック機能（多胎と他の子の事件簿番号の関係）	多胎と他の子の事件簿番号の関係		0380204	多胎の場合、入力内容と「生年月日」「子の住所」「父の氏名」「母の氏名」が同じ調査票の有無を確認できること。 ※1 入力内容と同じ調査票がある場合、メッセージを表示すること。 ※2 該当の出生票、死産票の調査票種別名、事件簿番号、受領番号を表示すること。			◎	◎		(参考)「「生年月日」「子の住所」「父の氏名」「母の氏名」が同じ死産票が存在します（調査票種別名、事件簿番号:X～X、受領番号:X～X）。多胎の可能性がありますので、内容を確認してください。」(新規)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.153 出生票関連チェック機能（出産順位と出産した子の数の関係）	出産順位と出産した子の数の関係		0380205	この母の出産した子の数・出生＋この母の出産した子の数・死産≧出産順位であることを確認できること。 ※1 出産もしくは死産した子の数が出産順位よりも少ない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30151 「4-2画面メッセージ」M00061	(参考)「この母の出産した子の数と出産順位の関係が矛盾しています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00061)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.154 出生票関連チェック機能（この母の出産した子の数）	この母の出産した子の数		0380206	1≦この母の出産した子の数≦15であることを確認できること。 ※1 この母の出産した子の数が1未満又は16以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30161 「4-2画面メッセージ」 M00181、M00199	(参考)1未満の場合「この出生子も含めて記載するので、「1」以上の入力が必要です。修正してください。」(M00181) (参考)16以上の場合「母の出産（出生子＋死産児）した子の数が多すぎます。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00199)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.155 出生票関連チェック機能（身長と妊娠週数の関係）	身長と妊娠週数の関係		0380207	身長≠妊娠週数であることを確認できること。 ※1 身長＝妊娠週数の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30171 「4-2画面メッセージ」M00311	(参考)「身長と妊娠週数が同じ値になっています。誤りでないか確認し、確認欄に項目番号を記載してください。」(M00311)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.156 出生票関連チェック機能（出生場所種別と出生場所名称の関係）	出生場所種別と出生場所名称の関係		0380208	出生場所種別＝1（病院）～3（助産所）のとき、出生場所名称がスペースでないことを確認できること。 ※1 出生場所名称がスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30181 「4-2画面メッセージ」M00321	(参考)「「病院」、「診療所」、「助産所」の場合は、施設名称が必要です。入力してください。」(M00321)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.157 出生票関連チェック機能（出生場所種別と出生場所名称の関係）	出生場所種別と出生場所名称の関係		0380209	出生場所種別＝4（自宅）のとき、出生場所名称がスペースであることを確認できること。 ※1 出生場所名称がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30191 「4-2画面メッセージ」M00331	（参考）「自宅の場合は、出生場所名称の記載の必要がありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00331）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.158 死亡票関連チェック機能（配偶者の有無と配偶者の年齢の関係）	配偶者の有無と配偶者の年齢の関係		0380210	配偶者＝1（いる）のとき、配偶者の年齢はスペースでないことを確認できること。 ※1 配偶者の年齢がスペースである場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30012 「4-2画面メッセージ」M00032	（参考）「配偶者がいる場合は配偶者の年齢の記載が必要です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00032）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.159 死亡票関連チェック機能（配偶者の有無と配偶者の年齢の関係）	配偶者の有無と配偶者の年齢の関係		0380211	配偶者＝2～4（いない）または5（不詳）のとき、配偶者の年齢はスペースであることを確認できること。 ※1 配偶者の年齢がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30022 「4-2画面メッセージ」M00042	（参考）「配偶者がいない場合または不詳の場合は配偶者の年齢の記載は必要ありません。修正してください。」（M00032）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.160 死亡票関連チェック機能（配偶者の有無と配偶者の年齢の関係）	配偶者の有無と配偶者の年齢の関係		0380212	配偶者の年齢がスペースでないとき、配偶者＝1（いる）であることを確認できること。 ※1 配偶者＝1でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30032 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00052	（参考）「配偶者の年齢が記載してあるときは配偶者がいる場合です。修正してください。」（M00052）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.161 死亡票関連チェック機能（配偶者の有無と配偶者の年齢の関係）	配偶者の有無と配偶者の年齢の関係		0380213	配偶者の年齢がスペースのとき、配偶者＝2～4（いない）または5（不詳）であることを確認できること。 ※1 配偶者＝1の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30042 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00062	（参考）「配偶者の年齢が記載してないときは配偶者がいない場合または不詳の場合です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00062）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.162 死亡票関連チェック機能（配偶者の有無と配偶者の年齢の関係）	死亡者の年齢と配偶者の有無の関係		0380214	性別＝1（男）、生年月日と死亡したときから計算した年齢が18歳未満のとき、配偶者＝2（いない・未婚）であることを確認できること。 ※1 配偶者＝2（いない・未婚）以外の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30052 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00072	（参考）「死亡者が18歳未満の男性であるにもかかわらず配偶者がいるになっています。修正してください。」（M00072）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.163 死亡票関連チェック機能（2022年3月以前の死亡者(女)の年齢と配偶者の有無の関係）	2022年3月以前の死亡者(女)の年齢と配偶者の有無の関係		0380215	死亡したときが2022年3月31日以前かつ、性別＝2（女）かつ、生年月日と死亡したときから計算した年齢が16歳未満のとき、死亡した人の配偶者＝2（いない・未婚）であることを確認できること。 ※1 配偶者＝2（いない・未婚）以外の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30062 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00082	（参考）「死亡者が16歳未満の女性であるにもかかわらず配偶者がいるになっています。修正してください。（M00082）」	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.164 死亡票関連チェック機能（2022年4月1日以降の死亡者(女)の年齢と配偶者の有無の関係）	2022年4月1日以降の死亡者(女)の年齢と配偶者の有無の関係		0380216	死亡したときが2022年4月1日以降かつ、性別＝2（女）かつ、生年月日が2006年4月2日以降かつ、生年月日と死亡したときから計算した年齢が18歳未満のとき、死亡した人の配偶者＝2（いない・未婚）であることを確認できること。 ※1 配偶者＝2（いない・未婚）以外の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30162 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00132	(参考)「死亡者が18歳未満の女性であるにもかかわらず配偶者がいるになっています。修正してください。(M00132)」	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.165 死亡票関連チェック機能（生年月日と死亡したときの関係）	生年月日と死亡したときの関係		0380217	生年月日と死亡したときが全く同じのとき、死亡までの期間が1日以内であることを確認できること。 ※1 1日以内でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30072 「4-2画面メッセージ」M00092	(参考)「生年月日と死亡したときが同じであるにもかかわらず死亡までの期間が1日以上になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。(M00092)」	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.166 死亡票関連チェック機能（死因の種類と外因死の追加事項欄の関係）	死因の種類と外因死の追加事項欄の関係		0380218	死因の種類＝2（交通）～11（不詳）のとき、外因死の追加事項欄の記載があることを確認できること。 ※1 外因死の追加事項欄の記載がない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30082 「4-2画面メッセージ」M00102	(参考)「外因死の場合は、必ず外因死の追加事項欄の記載が必要です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00102)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.167 死亡票関連チェック機能（死因の種類と外因死の追加事項欄の関係）	死因の種類と外因死の追加事項欄の関係		0380219	外因死の追加事項欄の記載があるとき、死因の種類＝2（交通）～11（不詳）であることを確認できること。 ※1 死因の種類＝2（交通）～11（不詳）でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30092 「4-1コードテーブル」D20032 「4-2画面メッセージ」M00112	（参考）「外因死の追加事項欄に記載がある場合は死因の種類も外因死でなければなりません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00112）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.168 死亡票関連チェック機能（出生から365日以内に死亡した場合）	出生から365日以内に死亡した場合		0380220	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が365日以内で、死因の種類＝1（病死・自然死）のとき、生後1年未満で病死した場合の追加事項欄の記載があることを確認できること。 ※1 生後1年未満で病死した場合の追加事項欄の記載がない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30102 「4-2画面メッセージ」M00122	（参考）「生まれてから365日以内の病死は生後1年未満で病死した場合の追加事項の記載が必要です。入力してください。」（M00122）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.169 死亡票関連チェック機能（出生から365日以内に死亡した場合）	出生から365日以内に死亡した場合		0380221	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が365日以内で、死因の種類＝1（病死・自然死）のとき、出生時体重がスペースなら、出生時体重不詳＝1（不詳）であることを確認できること。 ※1 出生時体重不詳＝1（不詳）でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30112 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00069	（参考）「体重欄、体重不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00069）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.170 死亡票関連チェック機能（出生から365日以内に死亡した場合）	出生から365日以内に死亡した場合		0380222	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が365日以内で、死因の種類＝1（病死・自然死）のとき、出生時体重不詳＝1なら、出産時体重がスペースであることを確認できること。 ※1 出産時体重がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30122 「4-2画面メッセージ」M00079	（参考）「体重欄と体重不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。」（M00079）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.171 死亡票関連チェック機能（出生から365日以内に死亡した場合）	出生から365日以内に死亡した場合		0380223	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が365日以内で、死因の種類＝1（病死・自然死）のとき、多胎の場合、多胎の種類・出生順位は両方入力されていることを確認できること。 ※1 多胎の種類・出生順位は両方入力されていない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30132 「4-2画面メッセージ」M00089	（参考）「多胎の場合、「多胎の種類・順位」の入力が必要です。入力してください。」（M00089）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.172 死亡票関連チェック機能（出生から365日以内に死亡した場合）	出生から365日以内に死亡した場合		0380224	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が365日以内で、死因の種類＝1（病死・自然死）のとき、多胎の場合、多胎の種類≧出生順位であることを確認できること。 ※1 多胎の種類≧出生順位でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30142 「4-2画面メッセージ」M00099	（参考）「多胎の場合、「出産順位」が「多胎の種類」を上回ることはありません。修正してください。」（M00099）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.173 死亡票関連チェック機能（死亡した人の住所と届出地の関係（戸籍情報システムとデータ連携する場合））	死亡した人の住所と届出地の関係（戸籍情報システムとデータ連携する場合）		0380225	戸籍情報システムからの送付データの場合、死亡した人の住所と届出地の関係について以下の内容に該当することを確認できること。 【死亡した人の住所と届出地の関連チェック項目】 ・受領した市区町村コード（死亡者の住所）と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・受領した市区町村コード（死亡者の住所）と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30152 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M00029	（参考）「「届書受付市区町村コードと住所地の市区町村コードの関係」と「同・否」の関係が矛盾しています。修正してください。」（M00029）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.174 死亡票関連チェック機能（死亡した人の住所と届出地の関係（戸籍情報システムとデータ連携しない場合））	死亡した人の住所と届出地の関係（戸籍情報システムとデータ連携しない場合）		0380226	全項目を人口動態調査事務システムで入力した場合、死亡した人の住所と届出地の関係について以下の内容に該当することを確認できること。 【死亡した人の住所と届出地の関連チェック項目】 ・入力した市区町村コード（死亡者の住所）と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・入力した市区町村コード（死亡者の住所）と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30152 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M00029	（参考）「「届書受付市区町村コードと住所地の市区町村コードの関係」と「同・否」の関係が矛盾しています。修正してください。」（M00029）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.175 死産票関連チェック機能（2022年3月31日以前の死産児の続き柄と父母の年齢の関係）	2022年3月31日以前の死産児の続き柄と父母の年齢の関係		0380227	死産があったときが2022年3月31日以前かつ、続き柄＝1（嫡出子）のとき、父の年齢は18歳以上、母の年齢は16歳以上であることを確認できること。 ※1 父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30013 「4-2画面メッセージ」M00119	（参考）「嫡出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00119）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.176 死産票関連チェック機能（死産児の続き柄と父母の年齢の関係）	死産児の続き柄と父母の年齢の関係		0380228	続き柄＝2（非嫡出子）のとき、父の国籍及び父の氏名～年齢はスペースであることを確認できること。 ※1 父の本籍、父の国籍及び父の氏名～年齢がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30023 「4-2画面メッセージ」M00129	（参考）「非嫡出子の父に関する項目の入力はできません。修正してください。」（M00129）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.177 死産票関連チェック機能（死産児の続き柄と父母の年齢の関係）	死産児の続き柄と父母の年齢の関係		0380229	続き柄＝2（非嫡出子）のとき、母の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 母の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30033 「4-2画面メッセージ」M00139	（参考）「非嫡出子の母の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00139）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.178 死産票関連チェック機能（2022年4月1日以降の死産児の続き柄と父母の年齢の関係）	2022年4月1日以降の死産児の続き柄と父母の年齢の関係		0380230	死産があったときが2022年4月1日以降かつ、続き柄＝1（嫡出子）のとき、父の年齢は18歳以上、母の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 父母の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30183 「4-2画面メッセージ」M00259	（参考）「嫡出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が18歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00259）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.179 死産票関連チェック機能（妊娠週数と死産の自然・人工別の関係）	妊娠週数と死産の自然・人工別の関係		0380231	妊娠週数≧22、胎児死亡の時期にマークがあるとき、死産の自然・人工別＝1（自然）であることを確認できること。 ※1 死産の自然・人工別＝1（自然）でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30043 「4-1コードテーブル」D20033 「4-2画面メッセージ」M00063	（参考）「妊娠週数が22週以上であるのに、人工死産となっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00063）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.180 死産票関連チェック機能（妊娠週数と死産の自然・人工別の関係）	妊娠週数と死産の自然・人工別の関係		0380232	妊娠週数≧22のとき、死産の自然・人工別＝2（法による）でないことを確認できること。 ※1 死産の自然・人工別＝2（法による）の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30053 「4-1コードテーブル」D20033 「4-2画面メッセージ」M00073	（参考）「妊娠週数が22週以上であるのに、法による人工死産となっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00073）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.181 死産票関連チェック機能（妊娠週数と死産の自然・人工別の関係）	妊娠週数と死産の自然・人工別の関係		0380233	胎児死亡の時期にマークがあるとき、妊娠週数≧22及び死産の自然・人工別＝1（自然）であることを確認できること。 ※1 妊娠週数≧22及び死産の自然・人工別＝1（自然）でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30063 「4-2画面メッセージ」M00083	(参考)「胎児死亡の時期の記載があるのに、自然死産以外となっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00083)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.182 死産票関連チェック機能（妊娠週数と死産の自然・人工別の関係）	妊娠週数と死産の自然・人工別の関係		0380234	死産の自然・人工別＝1（自然）で妊娠週数≧22のとき、胎児死亡の時期にマークがあることを確認できること。 ※1 胎児死亡の時期にマークがない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30073 「4-2画面メッセージ」M00093	(参考)「自然死産で妊娠週数が22週以後のときは、胎児死亡の時期の記載が必要です。入力してください。」(M00093)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.183 死産票関連チェック機能（妊娠週数と死産の自然・人工別の関係）	妊娠週数と死産の自然・人工別の関係		0380235	死産の自然・人工別＝2（法による）のとき、妊娠週数＜22であることを確認できること。 ※1 妊娠週数が22週以上である場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30083 「4-2画面メッセージ」M00103	(参考)「法による人工死産であるのに、妊娠週数が22週以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00103)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.184 死産票関連チェック機能（死産があったときの母の住所と届出地の関係）	死産があったときの母の住所と届出地の関係		0380236	死産があったときの母の住所と届出地の関係について以下の内容に該当することを確認できること。 【死産があったときの母の住所と届出地の関連チェック項目】 ・入力した市区町村コード（母の住所）と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・入力した市区町村コード（母の住所）と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記の内容に該当しない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30093 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M00029	（参考）「「届書受付市区町村コードと住所地の市区町村コードの関係」と「同・否」との関係が矛盾しています。修正してください。」（M00029）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.185 死産票関連チェック機能（死産児の体重と体重不詳の関係）	死産児の体重と体重不詳の関係		0380237	死産児の体重がスペースのとき、体重不詳＝1（不詳）であることを確認できること。 ※1 体重不詳＝1（不詳）でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30103 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00069	（参考）「体重欄、体重不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00069）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.186 死産票関連チェック機能（死産児の体重と体重不詳の関係）	死産児の体重と体重不詳の関係		0380238	体重不詳＝1（不詳）のとき、死産児の体重はスペースであることを確認できること。 ※1 死産児の体重がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30113 「4-2画面メッセージ」M00079	（参考）「体重欄と体重不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。」（M00079）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.187 死産票関連チェック機能（死産児の身長と身長不詳の関係）	死産児の身長と身長不詳の関係		0380239	死産児の身長がスペースのとき、身長不詳＝1（不詳）であることを確認できること。 ※1　身長不詳＝1（不詳）でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30123 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00159	（参考）「身長欄、身長不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00159）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.188 死産票関連チェック機能（死産児の身長と身長不詳の関係）	死産児の身長と身長不詳の関係		0380240	身長不詳＝1（不詳）のとき、死産児の身長はスペースであることを確認できること。 ※1 死産児の身長がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30133 「4-2画面メッセージ」M00169	（参考）「身長欄と身長不詳欄の両方に入力してあります。どちらかの記載が不要です。修正してください。」（M00169）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.189 死産票関連チェック機能（多胎と多胎の種類、出産順位の関係）	多胎と多胎の種類、出産順位の関係		0380241	多胎の場合、多胎の種類・出産順位は全て入力してあることを確認できること。 ※1 多胎の種類・出産順位を全て入力していない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30143 「4-2画面メッセージ」M00089	（参考）「多胎の場合、「多胎の種類・順位」の入力が必要です。入力してください。」（M00089）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.190 死産票関連チェック機能（多胎と多胎の種類、出産順位の関係）	多胎と多胎の種類、出産順位の関係		0380242	多胎の場合、多胎の種類≧出産順位であることを確認できること。 ※1 出産順位が多胎の種類よりも多い場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30153 「4-2画面メッセージ」M00099	（参考）「多胎の場合、「出産順位」が「多胎の種類」を上回ることはありません。修正してください。」（M00099）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.191 死産票関連チェック機能（多胎と他の子の事件簿番号の関係）	多胎と他の子の事件簿番号の関係		0380243	多胎の場合、他の子の事件簿番号（死産・出生の別及び事件簿番号）はスペースでないことを確認できること。 ※1 他の子の事件簿番号がスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30163 「4-2画面メッセージ」M00179	(参考)「多胎の場合、他の子の事件簿番号の入力が必要です。入力してください。」(M00179)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.192 死産票関連チェック機能（多胎と他の子の事件簿番号の関係）	多胎と他の子の事件簿番号の関係		0380244	多胎の場合、入力内容と「生年月日」「子の住所」「父の氏名」「母の氏名」が同じ調査票の有無を確認できること。 ※1 入力内容と同じ調査票がある場合、メッセージを表示すること。 ※2 該当の出生票、死産票の調査票種別名、事件簿番号、受領番号を表示すること。			◎	◎		(参考)「「生年月日」「子の住所」「父の氏名」「母の氏名」が同じ死産票が存在します（調査票種別名、事件簿番号：X～X、受領番号：X～X）。多胎の可能性がありますので、内容を確認してください。」(新規)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.193 死産票関連チェック機能（この母の出産した子の数）	この母の出産した子の数		0380245	この母の出産した子の数（出生子＋22週以後の死産児＋21週以前の死産児）について、1≦この母の出産した子の数≦15であることを確認できること。 ※1 この母の出産した子の数が1未満の場合、メッセージを表示すること。 ※2 この母の出産した子の数が16以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30173 「4-2画面メッセージ」 M00353、M00199	(参考)「この死産児も含めて記載するので、「1」以上の入力が必要です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00353) M00353は標準仕様書第三版から変更 (参考)「母の出産（出生子＋死産児）した子の数が多すぎます。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00199)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.194 婚姻票関連チェック機能（婚姻時の夫の年齢）	婚姻時の夫の年齢		0380246	市区町村受付年月日と夫の生年月から計算した夫の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30014 「4-2画面メッセージ」M00219	(参考)「夫の年齢が18歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00219)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.195 婚姻票関連チェック機能（婚姻時の妻の年齢(2022年3月31日以前)）	婚姻時の妻の年齢(2022年3月31日以前)		0380247	受付年月日が2022年3月31日以前のとき、市区町村受付年月日と妻の生年月から計算した妻の年齢が16歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30024 「4-2画面メッセージ」M00229	(参考)「妻の年齢が16歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00229)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.196 婚姻票関連チェック機能（婚姻時の妻の年齢(2022年4月1日以降)）	婚姻時の妻の年齢(2022年4月1日以降)		0380248	受付年月日が2022年4月1日以降のとき、受付年月日と妻の生年月から計算した妻の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30134 「4-2画面メッセージ」M00269	(参考)「妻の年齢が18歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00269)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.197 婚姻票関連チェック機能（同居を始めたときの夫の年齢）	同居を始めたときの夫の年齢		0380249	夫の生年月と同居を始めたときから計算した夫の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30034 「4-2画面メッセージ」M00239	(参考)「同居を始めたときの夫の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00239)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.198 婚姻票関連チェック機能（同居を始めたときの妻の年齢）	同居を始めたときの妻の年齢		0380250	妻の生年月と同居を始めたときから計算した妻の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30044 「4-2画面メッセージ」M00249	(参考)「同居を始めたときの妻の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00249)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.199 婚姻票関連チェック機能（婚姻解消時の夫の年齢）	婚姻解消時の夫の年齢		0380251	夫の生年月と夫の死・離別年月から計算した夫の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30054 「4-2画面メッセージ」M00014	(参考)「婚姻解消時の夫の年齢が18歳未満です。修正してください。」(M00014)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.200 婚姻票関連チェック機能（婚姻解消時の妻の年齢（2022年3月31日以前））	婚姻解消時の妻の年齢（2022年3月31日以前）		0380252	受付年月日が2022年3月31日以前のとき、妻の生年月と妻の死・離別年月から計算した妻の年齢が16歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30064 「4-2画面メッセージ」M00024	(参考)「婚姻解消時の妻の年齢が16歳未満です。修正してください。」(M00024)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.201 婚姻票関連チェック機能（婚姻解消時の妻の年齢（2022年4月1日以降））	婚姻解消時の妻の年齢（2022年4月1日以降）		0380253	受付年月日が2022年4月1日以降のとき、妻の生年月と妻の死・離別年月から計算した妻の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30144 「4-2画面メッセージ」M00094	(参考)「婚姻解消時の妻の年齢が18歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00094)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.203 婚姻票関連チェック機能（同居を始めたときと夫の死・離別年月の関係）	同居を始めたときと夫の死・離別年月の関係		0380254	同居を始めたときと夫の死・離別年月が同一でないことを確認できること。 ※1 同居を始めたときと夫の死・離別年月が同一である場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30074 「4-2画面メッセージ」M00034	（参考）「同居を始めたときと夫の婚姻解消時が同一になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00034）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.204 婚姻票関連チェック機能（初婚・再婚の別と死・離別の別の関係）	初婚・再婚の別と死・離別の別の関係		0380255	初婚・再婚の別＝1（初婚）のとき、死・離別年月はスペースであることを確認できること。 ※1 死・離別年月がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30084 「4-2画面メッセージ」M00044	（参考）「初婚の場合、婚姻解消年月の記載は必要ありません。修正してください。」（M00044）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.205 婚姻票関連チェック機能（初婚・再婚の別と死・離別の別の関係）	初婚・再婚の別と死・離別の別の関係		0380256	初婚・再婚の別＝2（離別）または3（死別）のとき、死・離別年月はスペースでないことを確認できること。 ※1 死・離別年月がスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30094 「4-2画面メッセージ」M00054	（参考）「再婚の場合、婚姻解消年月の記載が必要です。修正するか、誤りでなければ備考欄にその旨記載してください。」（M00054）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.206 婚姻票関連チェック機能（初婚・再婚の別と死・離別の別の関係）	初婚・再婚の別と死・離別の別の関係		0380257	死・離別年月に記載があるとき、初婚・再婚の別＝2（離別）または3（死別）であることを確認できること。 ※1 初婚・再婚の別＝2（離別）または3（死別）でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30104 「4-2画面メッセージ」M00064	（参考）「婚姻解消年月に記載があるときは、初婚ではありません。修正してください。」（M00064）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.207 婚姻票関連チェック機能（死・離別年月）	死・離別年月		0380258	夫の死・離別年月と妻の死・離別年月が同一でないことを確認できること。 ※1 夫の死・離別年月と妻の死・離別年月が同じ場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30114 「4-2画面メッセージ」M00074	（参考）「夫妻の婚姻解消年月が同一です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00074）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.208 離婚票関連チェック機能（離婚時の夫の年齢）	離婚時の夫の年齢		0380259	市区町村受付年月日と夫の生年月から計算した夫の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30015 「4-2画面メッセージ」M00219	（参考）「夫の年齢が18歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00219）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.209 離婚票関連チェック機能（離婚時の妻の年齢(2022年3月31日以前)）	離婚時の妻の年齢(2022年3月31日以前)		0380260	受付年月日が2022年3月31日以前のとき、受付年月日と妻の生年月から計算した妻の年齢が16歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30025 「4-2画面メッセージ」M00229	（参考）「妻の年齢が16歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」（M00229）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.210 離婚票関連チェック機能（離婚時の妻の年齢(2022年4月1日以降)）	離婚時の妻の年齢(2022年4月1日以降)		0380261	受付年月日が2022年4月1日以降のとき、受付年月日と妻の生年月から計算した妻の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30095 「4-2画面メッセージ」M00269	(参考)「妻の年齢が18歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00269)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.211 離婚票関連チェック機能（同居を始めたときの夫の年齢）	同居を始めたときの夫の年齢		0380262	夫の生年月と同居を始めたときから計算した夫の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30035 「4-2画面メッセージ」M00239	(参考)「同居を始めたときの夫の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00239)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.212 離婚票関連チェック機能（同居を始めたときの妻の年齢）	同居を始めたときの妻の年齢		0380263	妻の生年月と同居を始めたときから計算した妻の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30045 「4-2画面メッセージ」M00249	(参考)「同居を始めたときの妻の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00249)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.213 離婚票関連チェック機能（離婚の種別と調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月の関係）	離婚の種別と調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月の関係		0380264	離婚の種別＝1（協議）のとき、調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月はスペースであることを確認できること。 ※1 調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30055 「4-2画面メッセージ」M00025	（参考）「協議離婚の場合、調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月の記載は必要ありません。修正してください。」（M00025）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.214 離婚票関連チェック機能（離婚の種別と調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月の関係）	離婚の種別と調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月の関係		0380265	離婚の種別＝2（調停）・3（審判）・4（判決）・5（和解）または6（請求の承諾）のとき、調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月がスペースでないことを確認できること。 ※1 調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月がスペースである場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30065 「4-2画面メッセージ」M00035	（参考）「調停、審判、和解、請求の認諾または判決による離婚の場合、調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月の記載が必要です。修正してください。」（M00035）	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.215 離婚票関連チェック機能（離婚の種別と調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月の関係）	離婚の種別と調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月の関係		0380266	調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月に記載があるとき、離婚の種別は2（調停）・3（審判）・4（判決）・5（和解）または6（請求の認諾）であることを確認できること。 ※1 離婚の種別＝1（協議）の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30075 「4-1コードテーブル」D20015 「4-2画面メッセージ」M00045	（参考）「調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月に記載があるときは、協議離婚ではありません。修正してください。」（M00045）	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.216 離婚票関連チェック機能（同居を始めたときと別居したときの年月の関係）	同居を始めたときの年月と別居したときの年月の関係		0380267	同居を始めたときの年月≦別居したときの年月であることを確認できること。 ※1 同居を始めたときの年月≦別居したときの年月でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30085 「4-2画面メッセージ」M00055	(参考)「同居を始めたときと別居したときの関係が矛盾しています。修正してください。」(M00055)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.217 メッセージ	メッセージ		0380268	調査票の作成が必要な届書レコードが存在する場合、メッセージを表示し処理を継続するか終了するか選択できること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-1-6		令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.218 不要レコード	不要レコード		0380269	人口動態調査票の作成を要さない届書レコードを不要レコードに設定できること。 ※1 不要レコードは、そのレコードが存在する限り、必要なレコードに復帰できる。			○	○	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」J31000		令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.219 削除	削除		0380270	調査票情報を削除できること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.220 再入力データ	再入力データ		0380271	決裁前と後に作成したデータを管理できること。			○	○	決裁前と後で作成したデータ双方を保持し、画面上で要否を判別させる。		令和8年4月1日
01 調査票	1.2 調査票検索機能	1.2.1 検索	検索		0380272	調査票種別、事件簿番号、事件発生日、受付日、受領番号で、作成済み調査票を検索できること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.3 調査票一覧管理機能	1.3.1 検索結果	検索結果		0380273	機能ID：0380272での検索結果を一覧で表示できること。 ※1 一覧画面において、進捗、調査票送付日、事件簿番号、受付日、受領番号を表示すること。			○	○			令和8年4月1日
01 調査票	1.3 調査票一覧管理機能	1.3.2 処理状況	処理状況		0380274	出生、死亡、婚姻及び離婚の各届書レコードの戸籍情報システムからの受付状況及び人口動態調査事務システムでの当該レコードの処理状況を表示すること。 死産届書の人口動態調査事務システムでの処理状況を画面に表示すること。			○	○	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-3-1		令和8年4月1日
01 調査票	1.3 調査票一覧管理機能	1.3.3 処理状況出力	処理状況出力		0380275	機能ID：0380274の画面を出力できること。			○	○	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-3-1		令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.1 電子媒体出力	電子媒体出力		0380276	調査票の電子媒体出力ができること。 ※1 出力範囲を指定しての出力が可能。 ※2 文字コードはS-JIS又はUNICODEを使用。 ※3 出力前に電子媒体を初期化すること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.2 出力	出力		0380277	機能ID：0380276において電子媒体出力した調査票に、外字が含まれている場合、外字出現情報一覧表が出力されること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.3 出力	出力		0380278	任意のタイミングで媒体への出力内容を画面上で確認できること。 ※1 媒体内容を印刷することは可能。			○	○			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.4 出力	出力		0380279	媒体出力内容を出力できること。			○	○			令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.5 出力	出力		0380280	調査票データの印刷ができること。 ※1 一括出力（前回出力以降に作成された調査票を出力）と個票出力（指定した事件簿番号の調査票を出力）の両方が可能。 ※2 該当するレコードが存在する限り出力すること。 ※3 紙媒体での出力の場合、外字も印字されるため、外字出現情報一覧表の出力は不要。 ※4 備考欄の印字文字数が、60文字を超える場合は、61文字以降を備考欄別紙に印字すること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.6 出力	出力		0380281	備考欄別紙の出力ができること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.7 事件簿番号修正	事件簿番号修正		0380282	機能ID：0380276及び0380280において、調査票出力前に事件簿番号が修正できること。 ※1 開始番号の入力により自動で連番が振れること。 ※2 ※1に対し、手動でも番号が振れること。			○	○			令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.8 報告漏れ防止	報告漏れ防止		0380283	機能ID：0380276において、報告漏れを防止するために注意喚起などのメッセージを出力する機能を実装すること。			◎	◎	受理照会した届書の調査票を報告漏れすることがあることから、報告漏れをチェックする。	例：該当があるときに確認メッセージを出力する、該当の有無にかかわらず、毎回確認メッセージを出力する等	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
02 事件簿													
02 事件簿	2.1 調査票検索機能	2.1.1 調査票検索	調査票検索		0380284	作成場所、調査票種別、送付年月日で調査票を抽出できること。 ※1 抽出には送付年月日の入力が必須。			○	○			令和8年4月1日
02 事件簿	2.2 事件簿一覧管理機能	2.2.1 一覧表示	一覧表示		0380285	機能ID：0380284での抽出結果を一覧で表示できること。 ※1 事件簿番号の降順で表示すること。 ※2 一覧画面において、進捗、調査票送付日、事件簿番号、受付日、受領番号を表示すること。			◎	◎			令和8年4月1日
02 事件簿	2.2 事件簿一覧管理機能	2.2.2 処理状況	処理状況		0380286	機能ID：0380285において、人口動態調査事務システムからダウンロードされたレコードの処理状況及び全項目入力したレコードの詳細情報を画面上に出力すること。			○	○	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-1		令和8年4月1日
02 事件簿	2.2 事件簿一覧管理機能	2.2.3 支所管理	支所管理		0380287	機能ID：0380285において、支所ごとに絞り込みができること。			○	○			令和8年4月1日
02 事件簿	2.2 事件簿一覧管理機能	2.2.4 削除	削除		0380288	事件簿情報を削除できること。			○	○			令和8年4月1日
02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.1 プレビュー表示	プレビュー表示		0380289	事件簿の出力イメージを表示できること。			○	○			令和8年4月1日
02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.2 出力	出力		0380290	事件簿及び番号簿（機能ID：0380285の一覧画面）を出力できること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-1		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.3 出力	出力		0380291	機能ID：0380290について、全件出力できること。 ※1 該当年に届書を受付け、調査票を作成した事件について出力すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-2		令和8年4月1日
02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.4 出力	出力		0380292	機能ID：0380290について、指定出力できること。 ※1 指定した「月」に受付けた届書のうち、調査票を作成した事件について出力すること。 ※2 削除した事件も含む。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-2		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
03 人口動態調査市町村送付票													
03 人口動態調査市町村送付票	3.1 送付票作成機能	3.1.1 新規作成	新規作成		0380293	送付票の新規作成ができること。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.1 送付票作成機能	3.1.2 保存	保存		0380294	送付票情報を保存できること。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.1 送付票作成機能	3.1.3 修正	修正		0380295	作成済み送付票の修正ができること。 ※1 送付票一覧画面において、修正したい送付票を押下することで修正可能。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.1 送付票作成機能	3.1.4 削除	削除		0380296	送付票情報を削除できること。 ※1 送付票一覧画面において、削除したい送付票を選択し、削除ボタン押下で削除可能。			○	○			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.2 送付票検索機能	3.2.1 送付票検索	送付票検索		0380297	処理年を指定することで、送付票情報を検索できること。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.3 送付票一覧管理機能	3.3.1 送付票検索結果	送付票検索結果		0380298	機能ID：0380297での検索結果を一覧で表示できること。 ※1 送付日の降順で表示すること。 ※2 一覧画面において、送付票番号、送付日、出生票番号、死亡票番号、死産票番号、婚姻票番号、離婚票番号を表示すること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
03 人口動態調査市町村送付票	3.3 送付票一覧管理機能	3.3.2 送付票検索結果	送付票検索結果		0380299	機能ID：0380298での検索結果について1件ずつ送付票出力範囲情報が表示できること。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.1 プレビュー表示	プレビュー表示		0380300	送付票の出力イメージを表示できること。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.2 出力	出力		0380301	既存の送付票を一覧から選択し出力できること。 ※1 複数出力可。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.3 出力	出力		0380302	送付番号、送付年月日を入力し、事件簿番号を設定することで、新規の送付票を出力できること。 ※1 送付票番号、送付年月日にはそれぞれ、作成済みの送付票番号のうち最大値＋1、本日の日付を初期値として設定。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.4 自動出力	自動出力		0380303	機能ID：0380302において、自動出力ができること。 ※1 前回送付票に記載した事件簿番号以降の事件簿番号に関する送付票の出力を行うこと。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-2-1		令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.5 出力	出力		0380304	機能ID：0380302において、番号入力ができること。 ※1 送付する調査票の事件簿番号を指定して出力を行うこと。 ※2 入力値と実際のレコードに矛盾がないか審査すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-2-3		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.6 出力	出力		0380305	機能ID：0380304において、自動で事件簿番号を取得できること。			○	○			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.7 出力	出力		0380306	機能ID：0380302において、該当する調査票が存在しない場合は、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-2-2 「4-2画面メッセージ」M12028	(参考)「送付すべき調査票が存在しません。確認してください。(M12028)」	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
04 受理証明書													
04 受理証明書	4.1 死産票作成機能	4.1.1 入力	入力		0380308	以下の項目をシステム入力して印字ができること。 ・届出人の戸籍（国籍）の表示 ・届出人の氏名 ・届出の要旨			◎	◎			令和8年4月1日
04 受理証明書	4.2 死産票検索機能	4.2.1 検索	検索		0380309	支所名、死産があったとき、受付日を指定することで、死産票情報を抽出できること。			◎	◎			令和8年4月1日
04 受理証明書	4.3 死産票一覧管理機能	4.3.1 検索結果	検索結果		0380310	機能ID：0380309の検索結果を一覧で表示できること。 ※1 受付日及び事件簿番号の降順で表示すること。 ※2 一覧画面において、進捗、事件簿番号、受付日、父の氏名、母の氏名、分娩日を表示すること。			◎	◎			令和8年4月1日
04 受理証明書	4.4 受理証明書出力機能	4.4.1 プレビュー表示	プレビュー表示		0380311	機能ID：0380310で表示された死産票一覧から選択した死産票について死産届の受理証明書の出力イメージを表示できること。 ※入力画面上で出力イメージが確認できる機能の実装でも可とする。			◎	◎			令和8年4月1日
04 受理証明書	4.4 受理証明書出力機能	4.4.2 出力	出力		0380312	機能ID：0380310で表示された死産票一覧から選択した死産票について死産届の受理証明書を出力できること。 ※1 複数出力可。 ※2 出力前に出力先及び管掌者を設定できること。 ※3 イメージ表示ができること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.1版】

（自治体規模ごとの実装類型）
◎…実装必須機能、〇…標準オプション機能、×…実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.221 備考欄の活用	備考欄処理		0380313	文字列入力欄の文字数制限を超過した場合は備考欄を活用し入力すること。 ※1 各調査票の備考欄に対する入力文字数の上限は人口動態調査事務システム標準仕様書（別冊）外部連携仕様「6.出力ファイル（備考）」に準拠すること。			◎	◎	文字数制限を超過する場合は備考欄を活用すること。		令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.9 出力	出力		0380314	調査票の枠及びデータをまとめて印刷できること。また、手書き用に調査票の枠のみの印刷ができること。			〇	〇			令和8年4月1日